

2018年06月28日

課題名：集中治療室を必要とする救急患者における再挿管・気管切開の危険因子の検討

◆研究の目的と概要◆

当院における集中治療室を必要とする救急患者における再挿管・気管切開の危険因子を調べることによって、今後の再挿管を減らすことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013年4月から、2018年1月までの間に、救急ICUへ入室された18歳以上の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

過去の診療録（カルテ）等からの情報(患者さんの性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、入室中に発症した急性腎傷害、計画外抜管の有無、気管挿管の施行場所と適応となった疾患、使用薬剤、使用器具の種類、実施者の卒後年度、専門、挿管後合併症の有無と種類、ICU入室中の呼吸器合併症（人工呼吸器関連肺炎）、再挿管、気管切開、在室日数、退室時転帰)

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
集中治療科 研究責任者 藤永 潤

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明